新４Ｋ８Ｋ衛星放送の映像、音声に不具合が出る場合の確認のポイントについて

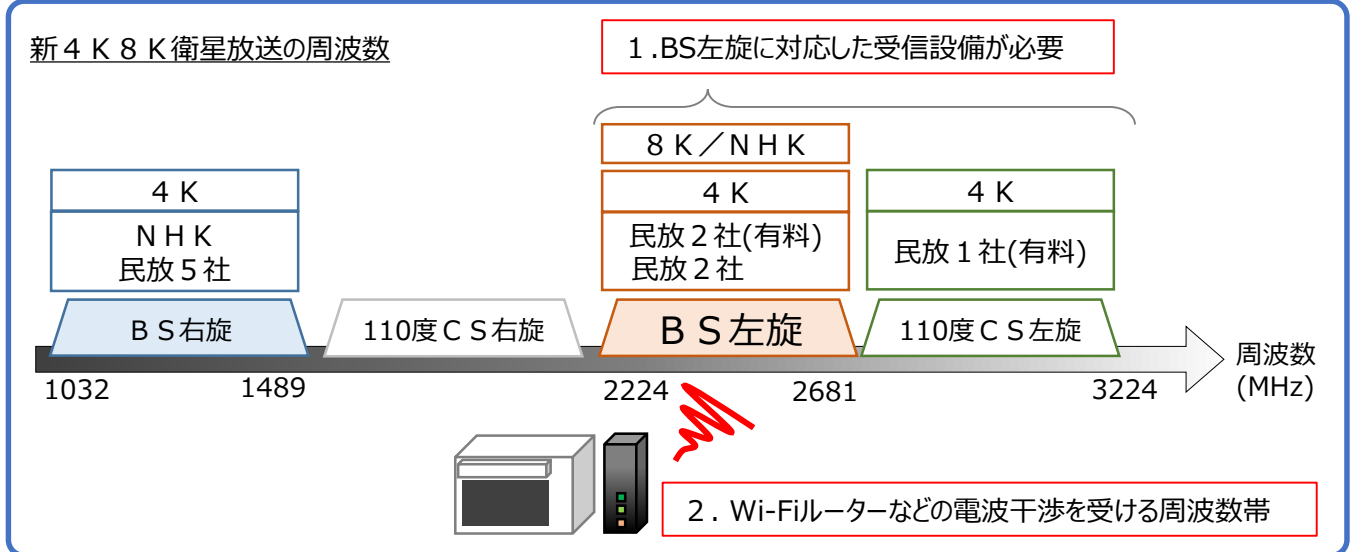
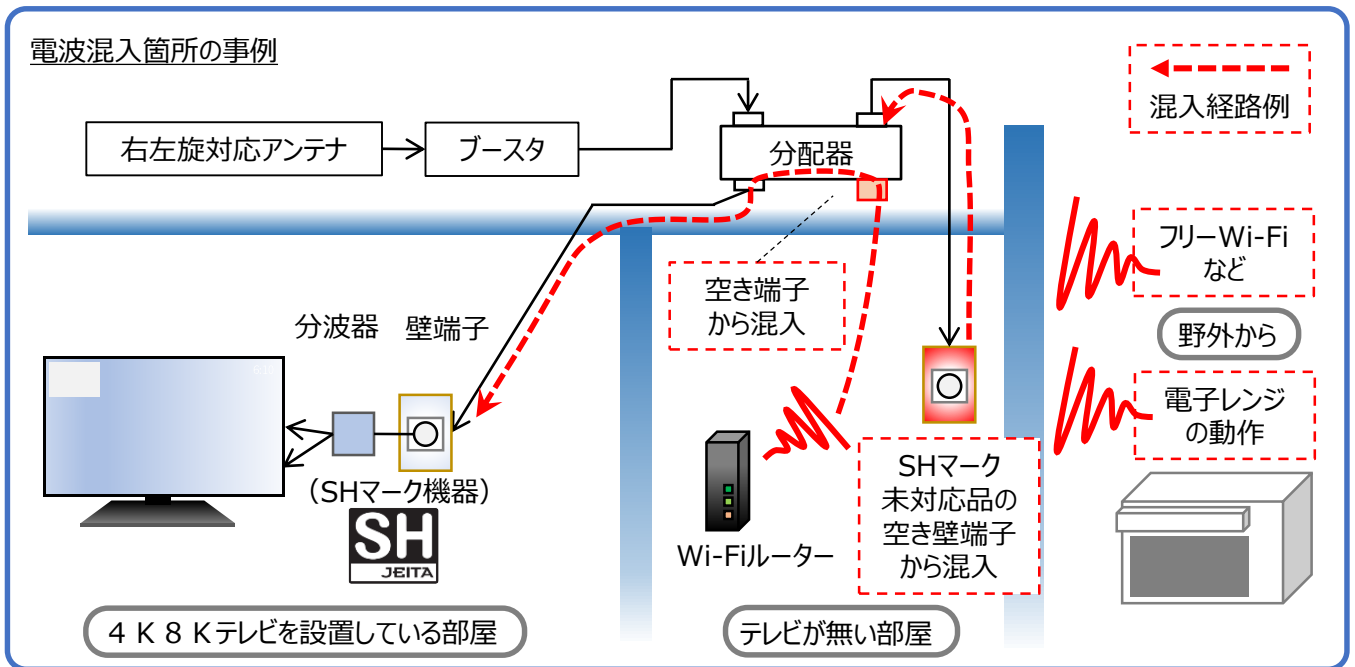
新４Ｋ８Ｋ衛星放送の映像や音声が、時々途切れる、静止する、全く出ない場合の確認ポイントをご案内いたします。

1． 受信設備について

全ての新４Ｋ８Ｋ衛星放送をお楽しみいただくには、右旋と左旋の両方に対応したアンテナへ交換する必要があります。また、分配器、分波器、壁端子、ブースタ、ケーブル等も、新4K8K衛星放送の受信帯域（1032～3224MHz）に対応した機器へ交換する必要があります。機器の交換にあたっては、ＳＨマーク登録機器を推奨しています。

2． 無線機器（ Wi-Fiルーター）等から電波干渉を受け、映像、音声に不具合が生じる事例

Wi-Fiルーターや電子レンジの動作時の電波が、受信設備へ混入することで、映像、音声に不具合が生じることがあります。電波の混入を防ぐため、遮蔽性能が高いＳＨマーク登録機器を推奨していますが、下のイラストのようにテレビが無い部屋や、屋根裏の分配器、壁端子がＳＨマーク未対応品の場合にも、電波が混入する事例があります。

Wi-Fiルーター電源とテレビのWi-Fi設定を一時的にオフにすることで、不具合が解消、軽減する場合は、電波混入が考えられるので、ご販売店、工事店様へご相談することをお勧めいたします。

（参考）総務省 衛星放送用テレビ受信設備の施工ガイドライン
https://www.soumu.go.jp/main_content/000555164.pdf